

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医基礎学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時限	前期 金曜・1限2限	教室名	2校舎501
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学の基本用語を学ぶ。 東洋医学の歴史、思想を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『新版 東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。						
《履修に当たっての留意点》						
東洋医学の考え方は西洋医学とは違った考え方ですが「人を診る」という視点では同じものです。 用語・理論など難しいかもしれませんが理解していくことで治療の幅は広がっていきます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	東洋医学の歴史、特徴について概説できる。	教科書	シラバス確認。講義予定部分の教科書の確認。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	東洋医学の起源と発展、基本的特徴			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	陰陽学説について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	陰陽学説について			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	五行学説について理解し、色体表を覚え、説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	五行学説について			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	精気学説について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	精気学説について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	精の生成・特徴・作用について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。	
	講義形式	各コマにおける授業予定	精について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	気の生成・種類・特徴・作用について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	気について		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	血の生成・特徴・作用について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	血について		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	津液の生成・特徴・作用について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	津液について		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	精・気・血・津液、相互関係について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	精・気・血・津液、相互関係について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	蔵象について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	蔵象概念		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	肝の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	肝について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	心の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	心について		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脾の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	脾について		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	肺について		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	腎の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	腎について		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	東医基礎学 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年生		学期及び曜時間	前期 金曜・1限2限	教室名	2校舎501
担 当 教 員	花原 容成	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
東洋医学の基本用語を学ぶ。 東洋医学の歴史、思想を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
1. 定期試験:100%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書:『新版 東洋医学概論』 東洋療法学校協会 編 (医道の日本社)						
《授業外における学習方法》						
予習:講義予定部分の教科書の確認。 復習:講義箇所に関する教科書の熟読・ノート整理。 共通:授業内で紹介した古典や専門書の通読。						
《履修に当たっての留意点》						
東洋医学の考え方は西洋医学とは違った考え方ですが「人を診る」という視点では同じものです。 用語・理論など難しいかもしれませんが理解していくことで治療の幅は広がっていきます。						
授業の 方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第 16 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	胆の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の 確認、五行色体表の記憶。	
		各コマに おける 授業予定	胆について			
第 17 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	胃の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の 確認、五行色体表の記憶。	
		各コマに おける 授業予定	胃について			
第 18 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	小腸の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の 確認、五行色体表の記憶。	
		各コマに おける 授業予定	小腸について			
第 19 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	大腸の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の 確認、五行色体表の記憶。	
		各コマに おける 授業予定	大腸について			
第 20 回	講義形式	授業を 通じての 到達目標	膀胱の生理について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の 確認、五行色体表の記憶。	
		各コマに おける 授業予定	膀胱について			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	三焦について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	三焦について		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇恒の腑の種類、特徴について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	奇恒の腑について		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	六臓六腑の相互関係について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	相互関係について		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	蔵象学説についてまとめ概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	蔵象学説まとめ		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	経脈と絡脈について		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	経絡の構成について概説できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	十二経脈の名称と分類、特長について		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	経脈の循行について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	十二経脈の循行部位について①		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	経脈の循行について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	十二経脈の循行部位について②		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	奇経八脈、その他の経絡について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	奇経八脈、その他の経絡について		
第30回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	前期で学んだ東洋医学について説明できる。	教科書	講義予定部分の教科書の確認、五行色体表の記憶。
		各コマにおける授業予定	総括		